

## 宇賀岳病院理念

『私たちはまごころをもって  
信頼の医療を実践し地域に貢献します』

## 基本方針

- 『常に情報を公開し、開かれた医療を実践する』
- 『医療機関・施設と密に連携し、  
地域の住民に質の高い医療を提供する』
- 『地域ニーズにあった診療科目と  
診療内容の充実に努める』
- 『医療の安全性を高めるよう自己啓発に励む』
- 『魅力ある職場づくりを目指す』



日本医療機能評価機構

## 地域貢献が私たちの目標です

病院長

江上 寛



宇賀岳病院は宇城市松橋町のほぼ中央に位置し、昭和59年に地域の中心病院を目指して設立され、今年で創設27周年を迎えます。常勤医師数20名、15診療科、病床数199床、10対1看護体制、職員数338名の急性期病院です。また、地域医療機関として、急性期の一般病床のみでなく、急性期から退院にいたるまで切れ目のない治療が提供できるような急性期病床、回復期リハビリ病床を有しています。また、当院は開放型病床を有する開放型病院でもあります。登録医の先生方も緊密に連携しながら共同で診療にあたることも可能です。無駄のない医療、そして安全安心の医療を支えるため、連携の重要性が叫ばれて久しくなりませんが、私たちも、地域医療を支えるためには連携がもっとも重要であると考え、病病、病診、病施連携を病院運営の主軸に据え、努力を続けています。さらに当院の特徴として民間病院ですが、地域の特長として

救急告示医療機関、第二種感染症指定病院、災害拠点病院など公的な役割を担っていることがあげられます。救急車受け入れも多く、昨年の救急車受け入れ台数は約1000台となりました。救急車以外の救急の方も多数来院しますので、外来は大変忙しい状況が続いています。外来での待ち時間が長いなど皆様にご迷惑をおかけしていることも多々あるかと存じますが、待ち時間の短縮などの改善に向け病院全体で取り組んでおります。また、病院は地域の災害拠点病院として災害に強い最新の機能を有する病院へと新築移転を計画しています。国からの交付金（医療施設耐震化臨時特例交付金）の内示を受け順調にその準備を進めています。さらに感染症指定病院としては、新型インフルエンザ対策など昨年から引き続きその活動の最前線にあります。本年も保健所など関係機関と連絡をとりあいながら的確に対応してまいります。

これからの医療機関にはより高い公益性が求められます。今後も、地域の様々なニーズに応えられるよう診療科を整備し、診療内容の充実に回り、安心、安全な医療が提供できるよう職員一同頑張ります。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

## 宇賀岳病院の新築移転について



法人企画室長 中 村 寧

当院は、国道3号と国道218号の交差点にある「道の駅」の西側隣接地に、平成24年秋の新築移転を目指し、用地の取得造成・建物の建築を進めています。

新病院は、地下1階地上4階の鉄筋コンクリート造で、延べ床面積は現病院の約1.3倍になり、地下1階には「薬局・栄養科等」、1階には「外来・各種検査室・救急センター等」、2階には「リハビリ・透析・手術室等」そして3階及び4階には病棟を整備することとしています。火災や地震等に配慮した構造になっており、また日射遮断対策の窓ガラスを使用するなど、安全性や環境等に配慮した施設になる予定です。敷地には、300台以上収容できる駐車場を透水性舗装で整備するとともに、高木低木を植栽し緑化を図ることとしています。

新病院は、これまで以上に安全で質の高い医療を提供し、地域に愛されシンボルとなる拠点病院を目指しています。

## 病院機能評価Ver 6受審に向けて

現在私たち宇賀岳病院は、平成23年3月の病院機能評価機構Ver 6の受審に向け職員全員一丸となって準備を進めております。

病院機能評価とは、病院の運営方針・機能を専門的な第三者機関が評価し、良質な病院医療の提供をしているかを評価する制度です。

審査項目として下記第1領域から第6領域で構成されています。

- 第1領域 病院の運営と地域における役割
- 第2領域 患者の権利と医療の質及び安全の確保
- 第3領域 療養環境と患者サービス
- 第4領域 医療提供と組織と運営
- 第5領域 医療の質と安全のためのケアプロセス
- 第6領域 病院運営管理の合理性

毎週水曜日に院長を筆頭に8名の担当で病院機能評価対策室会議を開催し、上記第1から第6領域の数百項目に対し、病院の現状をふまえ検討を行い、受審を迎えようとしています。

受審の際は、3日間にわたりサーベイヤー（審査員）の訪問審査が実施され、各項目の条件が満たされている病院が認定を受けることになります。

認定期間は5年間であり、当院はVer 4認定に続いて2回目の受審となります。

病院機能評価受審は、業務に対する職員の自覚と意欲の醸成、業務の効率化や標準化、また患者さんが信頼して受診できる医療機関としての質の向上を図る事を目的としております。



事務長  
松 本 恭 一

# 今年のインフルエンザの特徴



呼吸器内科医  
福田 秀明

昨シーズンの新型インフルエンザ罹患者は全人口の2割程度です。今シーズンは残り8割の方は、今季新型インフルエンザが主流を占めています。ところが、正月に新型インフルエンザの患者さんが増えてきました。新型インフルエンザでも、ほとんどの方は、季節性インフルエンザと同様に、高熱・咳・咽頭痛・頭痛・倦怠感などの典型的な重い風邪症状と下痢などの消化器症状だけで回復しています。しかし、呼吸器疾患・心疾患・腎疾患・糖尿病・免疫不全などの基礎疾患を持っている方や妊婦・乳幼児・高齢者の方は重症化することが多いとされています。

インフルエンザの診断は、咽頭、鼻腔ぬぐい液での簡易検査で、A型、B型の診断が可能です。発症後12時間以内では偽陰性になる可能性が高いため注意が必要です。治療は、発症後48時間以内であれば、抗インフルエンザ薬の投与により治療までの期間が短縮されるので、なるべく早めに使用することが望ましいとされています。昨年までは、内服薬タミフルや吸入薬リレンザの5日間使用が主体でしたが、今年はイナビル（1回吸入）が便利で確実な投与方法となりつつあります。当然ながら、自宅での安静、感染予防のため隔離することも大切なことです。

肺炎や髄膜炎などの重症インフルエンザの患者さんは、感染病棟への入院治療が必要になります。抗インフルエンザ薬の内服や吸入が出来ない患者さんには、点滴での抗インフルエンザ薬も準備され、抗生剤の併用、十分な輸液、酸素吸入などの集中治療が必要になってきます。

いずれにしても、罹患しないことが最も大切なことなので、インフルエンザの予防接種が重要なことは言うまでもありません。今年の予防接種には、新型インフルエンザ、A型とB型の季節性インフルエンザと大変お得な予防接種でした。病院関係者のみでなく、一般の方々も積極的に予防接種を毎年受けられる体制があれば、インフルエンザで悩む必要がなくなるのではないかと思います。



研修旅行第2班

## 職員研修旅行

今年度は95名の職員が研修旅行に参加しました。各班それぞれに楽しい2日間になりました。大分県日田天領水の工場見学、うみたまご、別府温泉、サファリパーク、由布院のたご汁、佐賀県鳥栖アウトレットの内容は盛りだくさんでした。



サファリパーク



研修旅行第3班



日田天領水



研修旅行第1班

# 『針刺し・自己』

P.N →若年ババア



# 新任医師紹介

## 呼吸器内科医 米良昭彦医師

平成23年1月から当院に着任致しました米良昭彦と申します。これまで熊本大学医学部大学院時代の研究も含めて、熊本市内の中核病院での勤務、地方の病院など多くの病院に勤務してまいりました。早いもので、今年で医者になって20年目となります。専門は呼吸器ですが、現在、救急も含めて内科全般にわたり診療に携わらせて頂いております。近年医学が著しい進歩を遂げる一方で日常診療もめまぐるしく変化してきております。このような厳しい状況下ではありますが、今後は当院にて地域医療に貢献すべく、忙しい中にもできるだけ丁寧な医療を目指して頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。



## ◆外来医師一覧表◆

平成23年1月17日～

平成23年1月1日更新

診療科	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
外科	診療担当医	飽田 和博	江上 寛	松田 貞士	栗崎 貴	並川 和男
	午後	手術・救急対応				※1担当医 ローテーション対応
総合診療科 (外科系)	診療担当医		中野 章	中野 章		※1担当医 ローテーション対応
	午後	病棟回診・救急対応				
整形外科	診療担当医	塩川 徳	井 賢治	担当医 ※4	担当医 ※4	赤城 哲哉
	午後	手術・救急対応				※1担当医 ローテーション対応
内科	診療担当医	中村 亮斉	福田 秀明	中村 亮斉	采田 憲昭	小山田直朗
		采田 憲昭	盛 三千孝	小山田直朗	福田 秀明	盛 三千孝
		米良 昭彦	心工コー(中止予定)		米良 昭彦	
	午後	病棟回診・救急対応				※2 ローテーション対応
神経内科	診療担当医			平原智雄(非常勤)		
循環器内科	診療担当医				午後 千年忠祐(非常勤)	午前 泉家康宏(非常勤)
糖尿病センター	診療担当医	竹田 晴生	竹田 晴生	竹田 晴生	竹田 晴生	竹田 晴生
小児科	診療 担当医	AM 板井 義男	村上 幹彦	板井 義男	村上 幹彦	板井 義男
	PM	板井 義男	板井 義男	板井 義男	板井 義男	板井 義男
泌尿器科	診療担当医	中村 武利			中村 武利	
内視鏡検査担当医	AM	松田貞士・小山田直朗	小山田直朗・栗崎 貴	栗崎 貴・飽田和博	松田貞士・飽田和博	栗崎 貴・采田憲昭
	PM	飽田和博・松田貞士・栗崎 貴	小山田直朗	采田憲昭	松田貞士・小山田直朗	栗崎 貴

※1 飽田和博・赤城哲哉・井 賢治・塩川 徳・松田貞士・栗崎 貴・中野 章、7名の医師によるローテーション対応になります。

※2 小山田直朗・福田秀明・中村亮斉、3名の医師によるローテーション対応になります。

※3 第1、第3、第5土曜日 AM診療(都合により変更になる場合があります。)

※4 水曜日・木曜日の整形外科の診察は手術担当医以外の医師が診療します。

受付時間【平日】 8:30～12:00(但し、泌尿器科 11:30 まで、整形外科 11:00 まで)【土曜】8:30～11:30(但し、小児科 11:00 まで)  
《小児科夕診》受付時間 月曜～金曜 14:30～16:30